

# (一財)食品産業センター 環境委員会 NEWS

No. 7 2

平成29年4月28日発行

<http://www.shokusan.or.jp/kankyo/committee/index.html>

(一財)食品産業センター環境委員会 事務局 加藤・渡邊

TEL:03-3224-2384/FAX:03-3224-2398

Mail : m-kato@shokusan.or.jp

=====

賛助会員各位

日頃より(一財)食品産業センター環境委員会の活動にご理解とご協力賜り誠にありがとうございます。  
ございます。

配信記事

平成29年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業）に係る対象事業者の公募について

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の公募について、農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室 環境対策班より通知がありましたのでご連絡申し上げます。

(記)

## 【環境省補助事業公募情報】

今回の補助事業は、先進的で効率的な低炭素機器の導入に取り組む事業者に対し設備・機器の導入支援を行うものです。

公募の受付が本日より始まっています。出来るだけ早く会員各位にお伝え願います。

詳細は添付していますファイル及びASSETウェブサイト (<http://www.asset.go.jp/rule>) をご確認ください。

併せて別紙 環境省の公募内容もご参考にしてください。

※環境委員ニュースは、メール又はFAXで配信しています。FAX版は、添付資料等により送付数が多くなることや、内容を当方より指定させていただいたURLにて別途ご確認をお願いすることがございます。そのため、出来るだけメール配信といたしたく考えます。現在、FAXで配信させていただいている方で、メール配信にご変更いただける方は、事務局までご連絡をお願いします。

## 別紙 環境省の公募内容

【環境省】 <http://www.env.go.jp/press/103982.html>

平成 29 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業）に係る対象事業者の公募について

【公募期間】 平成 29 年 4 月 27 日（木）～平成 29 年 5 月 25 日（木）

### 【事業概要】

先進的で高効率な低炭素機器の導入に取り組む事業者が、

ア) L2-Tech 認証製品の導入

イ) L2-Tech 認証製品以外でエネルギー起源二酸化炭素削減効果のある機器の導入及び

ウ) その他の自主的対策を組み合わせることにより事業場・工場における適切な CO2 排出削減目標を掲げ、その目標達成を約し、本事業の参加者全体で排出枠を調整し、補助事業全体で確実な排出削減を担保し、業務・産業両部門における CO2 排出量を効率的に大幅削減する事を目的に、先進的で高効率な低炭素機器として環境大臣が指定するもの等の導入を支援するもの。

### 【応募者の要件】

以下のアからオの法人・団体であり、かつ、①から③の要件をすべて満たすもの。

ア 民間企業。

イ 独立行政法人通則法（平成 11 年法律第 103 号）第 2 条第 1 項に規定する独立行政法人。

ウ 一般社団法人・一般財団法人及び公益社団法人・公益財団法人。

エ 法律により直接設立された法人。

オ その他環境大臣の承認を得て補助事業者が適切と認める者。

① 補助事業を的確に遂行するのに必要な費用の経理的基礎を有すること。

② 補助事業に係る経理その他の事務について適切な管理体制及び処理能力を有すること。

③ 暴力団排除に関する誓約事項に誓約できるものであること。

### 【補助対象事業】

国内の事業場及び工場の事業所において、先進的で高効率な低炭素機器等を導入する事業であり、かつ、①から⑦の要件を全て満たす事業。

① 事業場・工場における基準年度排出量※1 が 50t-CO2 以上であること。

② 補助事業実施後の事業場・工場の二酸化炭素排出量が、基準年度比で削減される事業内容であること。

③ 別紙「環境省指定設備・機器等一覧」※2 に掲げる設備・機器等に属する製品を少なくとも一つ以上導入すること。

④ L2-Tech 認証製品の材料費が補助事業で導入する機器の材料費全体に対して 50%以上であること。

⑤ 運用改善等による排出削減目標量が排出削減目標量全体に対して 10%以上であること。

⑥ 平成 28 年度に二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業）により機器等を導入した事業場・工場でないこと。

⑦ L2-Tech 認証製品を導入したことによる CO2 削減効果及びランニングコスト削減効果が定量的に把握可能であること（一部例外あり）。

- ※1 平成 26 年度～平成 28 年度における CO2 排出（他社から供給された電気又は熱を使用することを含む）量実績平均.
- ※2 別紙については、環境省報道発表資料（<http://www.env.go.jp/press/index.html>）からご確認ください

#### 【補助対象経費】

補助対象設備の整備に係る以下①から⑥の経費で、当該事業で使用されたことが証明できるものになります。

- ① 本工事費（材料費・労務費・直接経費・共通仮設費・現場管理費・一般管理費）.
- ② 付帯工事費（機械器具費・測量及試験費）.
- ③ 機械器具費.
- ④ 測量及試験費.
- ⑤ 設備費.
- ⑥ 事務費.

#### 【補助金の交付額】

ア) L2-Tech 認証製品導入に必要な経費の 1 / 2 以内※ 1.

イ) その他機器導入に必要な経費の 1 / 3 以内

（1 実施事業者※ 2 あたりの上限 : 1. 5 億円）.

※ 1 採択結果により 1 / 3 以内となる可能性があります.

※ 2 本補助金により導入した低炭素機器を実際に使用して二酸化炭素排出削減に取り組む者.

#### 【応募方法】

ASSET ウェブサイト（<http://www.asset.go.jp/rule>）に公募要領、交付規程及び交付規程様式が掲載されていますのでご確認ください

以上

＜お知らせ＞

**平成29年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金**  
**(先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業)**  
**対象事業者の公募について**

一般社団法人温室効果ガス審査協会 ASSET 事業運営センターでは、環境省から平成 29 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業 (ASSET 事業)。以下、「本事業」という。)の交付決定を受け、ASSET 事業者の公募を実施いたします。

また、本事業の公募を実施するにあたり説明会を開催いたします。

## 1. 事業概要

日本が排出する温暖化ガスを 2030 年までに 2013 年比で 26%削減する政府目標の達成に向けて、排出量の増加が顕著である業務部門と最大排出部門となっている産業部門における排出量の大幅削減を実現するには、先進的な設備導入支援及び費用効率性向上を促す仕組みや、更なる排出量削減に取り組む事業者の裾野拡大が必要です。なお、低炭素社会実行計画では、設備の新設・更新に“利用可能な最高水準の技術”を最大限導入することを前提に、2020 年の二酸化炭素削減目標を設定する事が掲げられています。また、国内排出量取引制度の検証にあたっての実証として、参加者間で取引(売買)できる排出枠を付与して取引を可能とすることで、事業全体で着実な二酸化炭素排出量削減を実現するとともに、排出量取引に対する事業者の意識醸成、制度面での課題の整理、知見の蓄積を図ることも必要です。

こうしたことから、環境省では、既存ストックの更新等に際して、事業者が導入すべき先導的・低炭素機器を見定め、それを効果的・効率的に導入することを支援する「先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業」を行っています。

本事業は、率先して先進的で高効率な低炭素機器の導入に取り組む事業者が、ア) L2-Tech 認証製品の導入、イ) L2-Tech 認証製品以外でエネルギー起源二酸化炭素削減効果のある機器の導入、ウ) 運用改善等を組み合わせることにより、事業場・工場における適切な CO2 排出削減目標を掲げ、その目標達成を約し、本事業の参加者全体で排出枠を調整し、補助事業全体で確実な排出削減を担保し、業務・産業両部門における CO2 排出量を効率的に大幅削減することを目的としているものです。

## 2. 公募詳細

- (1) 詳細については、下記公募要領・応募様式をご確認ください。

各資料は、ASSET ウェブサイトの実施ルール・様式-目標保有者用-平成 29 年度(第 6 期参加者) (<http://www.asset.go.jp/rule>)からダウンロード下さい。

- (2) 公募説明会では、ペーパーレス化のため資料を配布いたしませんので、下記の公募説明会資料、A (A1~A4)、B (B1~B2)、C(C1~C7)、E 1 等の必要な資料は、極力ノート PC、タブレット等にダウンロードして会場に持参下さい。

<b>■公募説明会資料</b>	
現在調整中 ※資料が整い次第、改めて御連絡いたします。	
<b>■A_公募要領</b>	
A1	公募要領(PDF)
A2	【様式 1】 公募要領様式(Word)
A3	【様式】 29 公募要領別添 1～3 (Excel)
A4	【記入例】 29 公募要領別添 1～3 (PDF)
A5	【様式・記入例】 29 公募要領別添 2 添付補足資料 (Excel)
<b>■B_ルール・ガイドライン</b>	
B1	ASSET 実施ルール (Ver.6.0) (PDF)
B2	モニタリング報告ガイドライン (Ver.6.0) (PDF)
<b>■C_算定報告書</b>	
C1	【様式】 29 公募要領別添 4-1 (単独参加者用) (Excel)
C2	【記入例：工場】 29 公募要領別添 4-1 (単独参加者用) (Excel)
C3	【記入例：事業場】 29 公募要領別添 4-1 (単独参加者用) (Excel)
C4	【様式】 29 公募要領別添 4-2 (グループ参加者用) (Excel)
C5	【記入例】 29 公募要領別添 4-2 (グループ参加者用) (Excel)
C6	【様式】 その他の方法にかかる報告様式 (Word)
C7	【記入例】 その他の方法にかかる報告様式 (PDF)
<b>■D_平均気温データ</b>	
D1	各都道府県の 2014～2016 年平均気温 (PDF)
<b>■E_交付規程</b>	
E1	【交付規程】 29 先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業 (PDF)
E2	【交付規程様式】 29 先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業 (Word) 全体頁
E3	【交付規程様式第 1 別紙 1】 整備計画書 (Excel)
E4	【交付規程様式第 1 別紙 2】 経費内訳 (Excel)
E5	【交付規程様式第 11 別紙 1】 実施報告書 (Excel)
E6	【交付規程様式第 11 別紙 2】 経費所要額精算調書 (Excel)
E7	【交付規程様式第 11 別紙 2】 【記入例】 経費所要額精算調書 (PDF) ※現在調整中、資料が整い次第、改めて御連絡いたします。
<b>■F_交付要綱・実施要領</b>	
F1	【交付要綱】 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 (先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業) 交付要綱 (170317 施行版) (PDF)
F2	【実施要領】 先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業実施要領 (170317 施行版) (PDF)
<b>■Q_公募質問票</b>	

Q1	【様式】 公募質問票 (Excel)
----	--------------------

### 3. 公募期間

平成 29 年 4 月 27 日 (木) ～平成 29 年 5 月 25 日 (木) 12 時まで

### 4. 公募に関するお問い合わせ

電子メール以外でのお問い合わせはできませんのでご注意ください。

公平性を期すため、お問い合わせ期間を設けております。

1	問合せ期間	平成 29 年 4 月 27 日 (木) ～5 月 19 日 (金) 12:00 まで
2	公募質問票	ASSET 公募質問票 (Excel ファイル) ※
		公募の内容に関して質問のある方は、公募質問票に必要事項と質問内容を記入し、メール送付先に添付送信。
3	メール送付先	<a href="mailto:asset@gaj.or.jp">asset@gaj.or.jp</a>
4	メール件名	ASSET 質問 (御社名)

※ASSET 公募質問票は、ASSET ウェブサイトの実施ルール・様式-目標保有者用-平成 29 年度(第 6 期参加者) (<http://www.asset.go.jp/rule>)からダウンロード下さい。

### 5. 公募説明会

本事業への申請をご検討される事業者様への説明会を下記の要領で開催いたします。

但し、公募説明会参加の受けは 4 月 17 日より開始して、既に一部の会場で定員に達し受付は締切らせていただいておりますが、まだ席に余裕のある会場も御座います。公募説明会の参加を希望される方は、早めの申し込みをお願いします。

開催日	開催地	開催時間	会場
5 月 9 日 (火)	東京 A	受付開始 : 13:30～ 説明会開始 : 14:00～16:30	TKP ガーデンシティ竹橋 ホール 10A 【定員 220 名】 <a href="http://tkptakebashi.net/access/">http://tkptakebashi.net/access/</a>
5 月 10 日 (水)	福岡	受付開始 : 13:30～ 説明会開始 : 14:00～16:30	TKP 博多駅前シティセンター ホール C 【定員 90 名】 <a href="http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/c-c-hakata-ekimae/access/">http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/c-c-hakata-ekimae/access/</a>

開催日	開催地	開催時間	会場
5月11日(木)	大阪	受付開始： 13:30～ 説明会開始：14:00～16:30	TKP 新大阪カンファレンスセンター ホール6A 【定員 130名】 <a href="http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/c-c-shinosaka/access/">http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/c-c-shinosaka/access/</a>
5月12日(金)	東京 B	受付開始： 13:30～ 説明会開始：14:00～16:30	TKP ガーデンシティ竹橋 ホール 10A 【定員 220名】 <a href="http://tkptakebashi.net/access/">http://tkptakebashi.net/access/</a>
5月15日(月)	名古屋	受付開始： 13:30～ 説明会開始：14:00～16:30	TKP ガーデンシティ PREMIUM 名駅桜通口 ホール3C 【定員 100名】 <a href="http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-meieki-sakuradoriguchi/access/">http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-meieki-sakuradoriguchi/access/</a>

## 6. 公募説明会申し込み方法

公募説明会への参加は、ASSETウェブサイトの新着情報「2017-04-17：平成29年度ASSET事業 公募予告及び公募説明会の受付を掲載しました。」(<http://www.asset.go.jp/>)からお申込み下さい。

なお、公募説明会の参加申し込みの締切りは、平成29年度4月28日(金)12時まで延長しました。

以上

## 環境大臣指定設備・機器等一覧

2016年度夏版L2-Tech認証製品一覧及び2016年度冬版L2-Tech認証製品一覧のうち、「産業・業務（業種共通）」に掲げる設備・機器等に属する製品を本事業における「L2-Tech認証製品」とする。

2016年度夏版L2-Tech認証製品一覧（<http://www.env.go.jp/press/files/jp/103996.pdf>より抜粋）

区 分		設備・機器等
A 産業・ 業務（業 種共通）	空調機（ヒートポンプ・個別方式）	A-01-001 ガスヒートポンプ
		A-01-002 パッケージエアコン(店舗・オフィス用)
		A-01-003 パッケージエアコン(設備用)
		A-01-004 パッケージエアコン(ビル用マルチ)
		A-01-005 氷蓄熱式パッケージエアコン
	熱源・空調機（ヒートポンプ・中央方式）	A-02-001 ターボ冷凍機
		A-02-002 水冷ヒートポンプチラー
		A-02-003 空冷ヒートポンプチラー
	熱源・空調機（吸収式・中央方式）	A-04-001 吸収冷水機（二重効用）
		A-04-002 吸収冷水機（三重効用）/廃熱投入型吸収冷水機（三重効用）
		A-04-003 一重二重併用形吸収冷水機
	熱源・空調機（吸着式・中央方式）	A-05-001 吸着式冷凍機
	熱源（ヒートポンプ）	A-06-001 高温水ヒートポンプ(空気熱源・循環式)
		A-06-002 高温水ヒートポンプ(空気熱源・一過式)
		A-06-003 高温水ヒートポンプ(水熱源・循環式)
		A-06-004 高温水ヒートポンプ(水熱源・一過式)
		A-06-005 高温水ヒートポンプ(水空気熱源・循環式)
		A-06-006 高温水ヒートポンプ(水空気熱源・一過式)
		A-06-007 熱風ヒートポンプ(水熱源・一過/循環式)
		A-06-008 蒸気発生ヒートポンプ(水熱源・一過式)
		A-06-009 蒸気再圧縮装置(その他熱源・循環式)
	給湯器（ヒートポンプ）	A-07-001 ヒートポンプ給湯機(空気熱源・一過式)
	給湯器（ガス式）	A-08-001 潜熱回収型給湯器
	ボイラ	A-09-001 温水機
		A-09-002 蒸気ボイラ(貫流ボイラ)
		A-09-003 蒸気ボイラ(炉筒煙管ボイラ)
		A-09-004 蒸気ボイラ(水管ボイラ)
		A-09-005 熱媒ボイラ
	コージェネレーション	A-10-001 ガスエンジンコージェネレーション
		A-10-002 ガスタービンコージェネレーション
		A-10-003 燃料電池コージェネレーション
冷凍冷蔵機器	A-11-001 業務用冷凍冷蔵庫	
	A-11-002 空気冷媒方式冷凍機	
	A-11-003 冷凍冷蔵倉庫用自然冷媒冷凍機（アンモニア/CO2二次冷媒システム）	
照明器具	A-12-001 LED 照明器具	
モータ	A-14-001 誘導モータ	
	A-14-002 永久磁石同期モータ	
変圧器	A-15-001 変圧器	
窓	A-16-001 窓ガラス	
エネルギーマネジメントシステム	A-18-001 BEMS（制御サービス・空調・熱源・中央方式）	

2016 年度冬版 L2-Tech 認証製品一覧 (http://www.env.go.jp/press/files/jp/105150.pdf  
より抜粋)

技術体系		設備・機器等	リンク
産業・業務 (業種共通)	空調機 (ヒートポンプ・個別方式)	ガスヒートポンプ	—
		パッケージエアコン(店舗・オフィス用)	—
		パッケージエアコン(設備用)	—
		パッケージエアコン(ビル用マルチ)	—
		氷蓄熱式パッケージエアコン	—
	熱源・空調機 (ヒートポンプ・中央方式)	フロン類等冷媒ターボ冷凍機	—
		自然冷媒ターボ冷凍機	—
		水冷ヒートポンプチラー	—
		空冷ヒートポンプチラー	—
	熱源・空調機 (吸収式・中央方式)	間接気化式冷却器	—
		吸収冷温水機 (二重効用)	—
		吸収冷温水機 (三重効用) / 廃熱投入型吸収冷温水機 (三重効用)	—
		一重二重併用形吸収冷温水機	—
	熱源 (ヒートポンプ)	木質ペレット直焚き吸収冷温水機 (二重効用)	—
		高温水ヒートポンプ(空気熱源・循環式)	—
		高温水ヒートポンプ(空気熱源・一過式)	—
		高温水ヒートポンプ(水熱源・循環式)	—
		高温水ヒートポンプ(水熱源・一過式)	—
		高温水ヒートポンプ(水空気熱源・循環式)	—
		高温水ヒートポンプ(水空気熱源・一過式)	—
		熱風ヒートポンプ(水熱源・一過/循環式)	—
		蒸気発生ヒートポンプ(水熱源・一過式)	—
	蒸気再圧縮装置	—	
	給湯器 (ヒートポンプ)	ヒートポンプ給湯機(空気熱源)	—
	給湯器 (ガス式)	潜熱回収型給湯器	—
	ボイラ	温水機	—
		蒸気ボイラ(貫流ボイラ)	—
		蒸気ボイラ(炉筒煙管ボイラ)	—
		蒸気ボイラ(水管ボイラ)	—
		熱媒ボイラ	—
	コージェネレーション	ガスエンジンコージェネレーション	—
		ガスタービンコージェネレーション	—
燃料電池コージェネレーション		—	
冷凍冷蔵機器	空気冷媒方式冷凍機	—	
	冷凍冷蔵倉庫用自然冷媒冷凍機 (アンモニア/CO2二次冷媒システム)	—	
照明器具	LED照明器具	—	
モータ	誘導モータ	—	
	永久磁石同期モータ	—	
変圧器	油入変圧器	—	
	モールド変圧器	—	
モータ利用機器 (圧縮機)	蒸気駆動圧縮機	—	
	熱回収式ねじ容積形圧縮機	—	
窓	Low-E複層ガラス (LE3+A12+FL3)	—	
	三層Low-E複層ガラス (LE3+Ar11+FL3+Ar11+LE3)	—	
	真空Low-E複層ガラス (LE3+Ar9+FL3+V0.2+LE3)	—	
	アタッチメント付きLow-E複層ガラス (LE3+Ar6+FL3 (アタッチメント付き))	—	
	真空ガラス (LE3+V0.2+FL3)	—	
	現場施工型後付けLow-E複層ガラス (FL6+A12+LE5)	—	
	薄型Low-E複層ガラス (LE3+Kr4+FL3)	—	
洗濯機	業務用ヒートポンプ式衣類洗濯乾燥機	—	
エネルギーマネジメントシステム	BEMS (制御サービス・空調・熱源・中央方式)	—	

平成 29 年 4 月 17 日

一般社団法人 温室効果ガス審査協会 (Green House Gas Assurance Association of Japan) は、環境省の事業である平成 29 年度先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業 (ASSET 事業) の執行団体に採択され、現在、4 月下旬より目標保有者の公募を行うべく準備を進めております。

※執行団体採択に係る環境省報道発表：<http://www.env.go.jp/press/103785.html>

この度、公募開始に先立ち、公募説明会の参加申込み受付を開始しますのでお知らせいたします。

## 1. ASSET 事業の概要

日本が排出する温暖化ガスを 2030 年までに 2013 年比で 26%削減する政府目標の達成に向けて、排出量の増加が顕著である業務部門と最大排出部門となっている産業部門における排出量の大幅削減を実現するには、先進的な設備導入支援及び費用効率性向上を促す仕組みや、更なる排出量削減に取り組む事業者の裾野拡大が必要です。なお、低炭素社会実行計画では、設備の新設・更新に“利用可能な最高水準の技術”を最大限導入することを前提に、2020 年の二酸化炭素削減目標を設定する事が掲げられています。また、国内排出量取引制度の検証にあたっての実証として、参加者間で取引（売買）できる排出枠を付与して取引を可能とすることで、事業全体で着実な二酸化炭素排出量削減を実現するとともに、排出量取引に対する事業者の意識醸成、制度面での課題の整理、知見の蓄積を図ることも必要です。

こうしたことから、環境省では、既存ストックの更新等の際して、事業者が導入すべき先導的 低炭素機器を見定め、それを効果的・効率的に導入することを支援する「先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業」を行っています。

本事業は、率先して先進的で高効率な低炭素機器の導入に取り組む事業者が、ア) L2-Tech 認証製品の導入、イ) L2-Tech 認証製品以外でエネルギー起源二酸化炭素削減効果のある機器の導入、ウ) 運用改善等を組み合わせることにより、事業場・工場における適切な CO2 排出削減目標を掲げ、その目標達成を約し、本事業の参加者全体で排出枠を調整し、補助事業全体で確実な排出削減を担保し、業務・産業両部門における CO2 排出量を効率的に大幅削減することを目的としているものです。

## 2. 公募期間

平成 29 年 4 月下旬から 1 ヶ月程度を予定しています。

公募を開始する際には、本ホームページ及び環境省報道発表を通じて、その旨を公表いたします。

### 3. 対象者

ASSET 事業の参加には、以下の3通りの方法があります。今回は、目標保有者を公募いたします。

目標保有者	一定量の排出削減を約束する代わりに、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金と排出枠の交付を受ける参加者。(今後募集をする「平成 29 年度先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業」の採択事業者)
自主参加者	補助金を得ずに自己資金による設備更新や運用改善を以って排出削減目標を設定し事業に参加する事業者。
取引参加者	目標保有者の目標達成の円滑化を目的に、排出枠の仲介を目的とする参加者。取引参加者に対しては、補助金及び排出枠の交付はされません。

目標保有者の要件は、以下のアからオの法人・団体になります。なお、補助対象事業等詳細な要件については、公募開始時にご案内いたします。

ア 民間企業

イ 独立行政法人通則法（平成 11 年法律第 103 号）第 2 条第 1 項に規定する独立行政法人

ウ 一般社団法人・一般財団法人及び公益社団法人・公益財団法人

エ 法律により直接設立された法人

オ その他環境大臣の承認を得て補助事業者が適当と認める者

### 4. 公募説明会

■ 下記の説明会の参加申込み受付期間は 平成 28 年 4 月 17 日(月) ~ 4 月 27 日(木) 12 時迄です。満席になり次第、締め切ります。

■ 説明会参加希望の方は、こちらから (←クリック) お申込みください。

申込受付が完了すると受付完了のメールが申込者へ送信されます。

#### 【留意事項】

できるだけ多くの事業者様にご参加いただきたく、以下の内容についてご了承ください。

- ・同一会場においては、応募を想定している 1 案件あたり 最大 3 名までのお申し込みとさせていただきます。また、同じ御名前での申込みは 1 回しか受けません。
- ・申込み状況によっては、参加人数を調整させていただく場合があります。

■ 詳細内容（持参資料等）については、別途、本ホームページに公表いたします。

■ 説明会資料、規定類（A 公募要領～F 交付要綱・実施要領）は、ペーパーレス化のため極力ノート PC、タブレット等にダウンロードして会場に持参ください。

開催日	開催地	開催時間	会場
5月9日(火)	東京A	受付開始： 13:30～ 説明会開始： 14:00～16:30	TKP ガーデンシティ竹橋 ホール10A 【定員220名】 <a href="http://tkptakebashi.net/access/">http://tkptakebashi.net/access/</a>
5月10日(水)	福岡	受付開始： 13:30～ 説明会開始： 14:00～16:30	TKP 博多駅前シティセンター ホールC 【定員90名】 <a href="http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-hakata-ekimae/access/">http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-hakata-ekimae/access/</a>
5月11日(木)	大阪	受付開始： 13:30～ 説明会開始： 14:00～16:30	TKP 新大阪カンファレンスセンター ホール6A 【定員130名】 <a href="http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shinosaka/access/">http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shinosaka/access/</a>
5月12日(金)	東京B	受付開始： 13:30～ 説明会開始： 14:00～16:30	TKP ガーデンシティ竹橋 ホール10A 【定員220名】 <a href="http://tkptakebashi.net/access/">http://tkptakebashi.net/access/</a>
5月15日(月)	名古屋	受付開始： 13:30～ 説明会開始： 14:00～16:30	TKP ガーデンシティ PREMIUM 名駅桜通口 ホール3C 【定員100名】 <a href="http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-meieki-sakuradoriguchi/access/">http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-meieki-sakuradoriguchi/access/</a>

## 6. 問合せ先

一般社団法人 温室効果ガス審査協会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-29-1 住友不動産一ツ橋ビル7階

ASSET 事業運営センター 事業部

問合せ専用メールアドレス：asset@gaj.or.jp

以上